

災害発生時のマネジメント ～対策本部の運営～

地震や台風、水害等の災害が発生した際、被害をできる限り最小限に抑えるには、初動対応期（地震の場合 発生後72時間）の災害対策本部における対応が重要となります。

今回の研修は、災害発生時に対策本部に参集する職員がトップの的確な判断をサポートできるよう、どのように事態を正しく把握するかについて学び、また自ら最善策を検討し、課題に対処するための能力を養うことを目的に実施します。

研修のポイント

- ①災害対策本部の図上訓練を行い、災害対策本部の円滑な運営について学ぶ。
- ②事例紹介から、災害発生時に起こりうる事態を想定し、留意すべき点や対応を考える。
- ③災害時に活用できる支援について理解し、災害発生時の対応について考える。

開催要領

日程

令和3年3月1日(月)～3月3日(水) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

災害発生時に対策本部に参集する市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年1月19日(火)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

3月

1日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:10

講義 防災行政について

総務省消防庁国民保護・防災部防災課

近年発生した災害への対応状況や災害法制等に関する国の最新状況、災害対応に係る地方自治体の役割など、災害発生時の防災行政の全体像についてお話しいただきます。

14:25~15:35

講義 テックフォースによる災害発生時の支援とその活用

国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室 防災企画係長 **山本 英利 氏**

国土交通省では、大規模自然災害への備えとして、迅速に自治体等への支援が行えるよう、テックフォースを創設され、全国各地で活動されています。テックフォースの活動を中心に、災害発生時の初動期の対応と、支援内容についてご紹介いただきます。

15:50~17:00

意見交換会

それぞれの自治体の状況等を踏まえて、災害時の対応についてグループごとに意見交換をします。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介 豪雨災害における対応と教訓

大分県日田市総務部防災・危機管理課 課長 **梶原 秀一 氏**

平成29年7月九州北部豪雨や令和2年7月豪雨時、日田市災害対策本部ではどのような運営がされていたか、当時の状況や教訓、その後の防災対策についてお話しいただきます。

10:50~12:00

事例紹介 タイムラインの活用について

三重県紀宝町 特別参与・危機管理監 **新元 明生 氏**

台風災害での教訓を踏まえ、策定されたタイムラインが現在の災害対応にどのように活用されているのか、またタイムラインの効果や地域に広げるための工夫についてお話しいただきます。

13:00~14:10

事例紹介 地震災害における対応と教訓

熊本県熊本市政策局危機管理防災総室 主幹 **大塚 和典 氏**

熊本地震時の対策本部の運営をふりかえり、情報収集・伝達などを中心に、平時から自治体職員が準備すべきこと、災害発生時にやるべきこと等についてお話しいただきます。

14:25~17:00

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練に向けて～

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

災害発生後の災害対策本部の実際についてお話しいただきます。その後、翌日の「図上シミュレーション訓練」に向けて概要を説明していただきます。

9:25~12:00

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練～

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

図上シミュレーション訓練により、災害発生直後の災害対策本部の状況を疑似体験し、災害時の対応能力向上を目指します。

13:00~14:10

講義 まとめ

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 **黒田 洋司 氏**

研修をふりかえり、災害時のマネジメントについて、災害対策本部の運営を中心に、3日間のまとめをしていただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和3年

3月

2日(火)

令和3年

3月

3日(水)